

パブリックコメント手続結果概要

1. 案件名

「交野市学校教育ビジョン(素案)に対するパブリックコメントについて」

2. 実施機関(担当所管課等)

- (1) 名称 : 交野市教育委員会事務局教育総務室
(2) 所在地 : 〒576-0052 交野市私部2丁目29番1号
(3) 電話番号 : 072-892-0121

3. 概況

- (1) 意見等募集期間 : 開始 令和6年11月27日(水)から
終了 令和6年12月26日(木)まで
※郵送は期間内の消印があれば有効
(2) 結果周知手段 : 広報かたの、交野市ホームページ
(3) 結果資料公表場所 : 交野市ホームページ、情報公開コーナー、
実施機関(担当所管課等)の事務所

4. 受付した意見等の件数

提出人数 2人
提出意見数 7件

5. 受付した意見等の件数

(1) 学校教育ビジョン全般に関する意見	3件
(2) 施策の柱、基本施策等に関する意見	3件
(3) その他の意見	1件
合計	7件

6. 意見等に対する考え方・対応

意見等に対する教育委員会の考え方・対応は別紙に記載しているとおりです。
なお、意見等により交野市学校教育ビジョンを修正するには至りませんでした。

内容につきましては、次ページから示します。

学校教育ビジョン パブリックコメント意見等に対する考え方・対応

(1) 学校教育ビジョン全般に関する意見

意見等の概要	意見等に対する考え方
<p>① 「情(こころ)」に関すること</p> <p>この「情」をととても大事にしたいように、全体を通して感じましたが、人に寄り添う気持ちを持つことは明文化されていますが、【自分の気持ち】をまずは大事にできるよう、もっと明文化してほしいです。</p> <p>こども達の自己肯定感が低かったり、諸外国と比べて自分への自信の無さが目立つことが、もう随分昔から話題になっています。それは私たちは他者を余りにも意識しすぎているから、ではないでしょうか。</p> <p>まずは【自分】が今生きていることが素晴らしい、どんな感情を持って大丈夫、その土台があって、ようやく他者との調整を入れられる。</p> <p>人に寄り添ってばかりいたら、自分の足元が揺らいでしまいそうです。</p> <p>生きる力とは、哀しみも楽しみも、【自分】でまず味わうことから、そしてそれを友達とも分かち合えたら良いけれど、違うように受け止めている子もいるかもしれないし、それもそれで良いと、消化できることではないでしょうか。</p> <p>寄り添うことは大人の仕事で、こども達にはまずは自分を大切にすることを声を大にして伝えてもらいたい、と思います。</p>	<p>学校教育ビジョンの施策の柱のひとつとして「情(こころ)を育む学校」を設定しています。</p> <p>特に「情」という部分については、児童・生徒が人に寄り添う気持ちを持ち、生きる力を身に付けていくということから記載しておりますが、同時に豊かな心を育むことも想定しております。</p> <p>自分の気持ちを大切にすることについては、学校の教育活動全体の中で、自己及び他者の人権を守ろうとする意識・意欲・態度や実践的な行動による意識の向上や自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動できるよう育てていきたいと考えております。</p>
<p>② 「9年間教育」について</p> <p>教育大綱(令和7年度～令和8年度)に、「二度と小中一貫校の建設を進めません」「これまで積み重ねてきた小中一貫教育の名称は変更して手法は活かし」と明記されたことは、高く評価しています。それにもとづき今回の学校教育ビジョンが策定され、小中一貫校をめざす記述もなく、小中一貫教育を「9年間教育」と名称変更したことは評価します。</p>	<p>ご意見としてお伺いいたします。</p>
<p>③ 「めざす子ども像」について</p> <p>「めざす子ども像」ってありますが、その像と食い違う行動をした子どもには指導するという印象を、この言葉からは感じます。</p> <p>上にも書いたように、大人の仕事は子ど</p>	<p>めざす子ども像は、「自ら学び、豊かな心を持ち、未来に向かって力強く生きる子ども」のように、義務教育修了時点において育成すべき子どものイメージを示した</p>

<p>も達に寄り添うことではないでしょうか。一人一人がそのまま、愛され受け止められること。その上で、例えば、人やものを傷つけたならばどうしたらよいか話して一緒に考え、行動することが寄り添うのかと思います。</p> <p>当然手間はかかるのですが。</p> <p>目指す姿から逸脱したらバツつけられますか？</p> <p>わたしは、めざす大人像と見合ってるだろうか？と、考えたくないです。笑</p>	<p>ものです。小中9年間のつながりを意識した教育活動や取組みを進める中でその実現を図るため、各中学校区で設定し、教職員や家庭が共有することとしております。</p> <p>めざす子ども像は各学校運営協議会の中でも共有することとしており、学校、家庭・地域が子どもたちの姿に寄り添いながら同じ方向を向き、ともに地域の子どもたちを育てていくことをめざすものです。</p>
--	--

(2) 施策の柱、基本施策等に関する意見

意見等の概要	意見等に対する考え方
<p>① 確かな学びが実感できる学校について</p> <p>柱にある「学び」と基本施策にある「学力」の言葉の違いについて。</p> <p>学びという言葉では、「なんでだろう」という探求から色々と枝葉のように分かれてこども達調べたり話したりすることが想像できます。</p> <p>一方、学力と言われると、たちまちテストと数値化というイメージになります。</p> <p>個人的には、テストは要らないのではないかと感じていて、校長先生や担任の先生方と懇談などでお話しさせてもらっています。</p> <p>できる、できないを測るのではなく、どうやったら解に辿り着けるかを探することで、だれ一人取り残さないことができるのではないかと。</p> <p>暗記に重きを置くテストは、もはや時代遅れでは？そもそも、漢字など書くことを苦手とする子は、凸凹の加減で支援級に通わない子の中にも居てると思います。</p>	<p>学習指導要領では、育成すべき資質・能力として「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の3つを示しています。この3つの資質・能力の育成に向けた「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざした授業づくりにおいて、子どもたちが「何を学ぶか」「どのように学ぶか」を重視することとしております。</p> <p>施策の柱では、ご意見にあります「探求から色々と子ども達調べたり話したりすること」や読み・書き・計算といった基礎的・基本的な力等のいわゆる学力を包括したもので、児童・生徒が力を活かす授業の実践を通して、子どもたちが自らの成長を感じられるものを「確かな学び」としてしております。</p>
<p>② 「読書活動の充実」について</p> <p>とても良いと思います。個人的にも読書が好きで、こども達とも図書館通っています。</p> <p>ただ、学校でこども達が読書をするためには、ものすごく環境作りが大切だと思います。</p> <p>タブレットは、もはやそれを遮る一番の登場人物ではないでしょうか。</p> <p>それから放課後も何かと忙しいこども達なので、宿題も少ないほうが、家での読書量は増えると思います。</p>	<p>子どもたちの「読む力」を育むためには、継続的な読書活動が重要であると考えています。そのため、学校司書やサポーター配置の継続・充実等、学校図書館の環境整備を行っております。</p> <p>タブレット端末は、授業において情報を収集したり、考えをまとめたり、考えを共有したりする場面において使用しております。調べ学習等では、タブレットを使用してインターネットをもとに調べるか、図書館資料や新聞をもとに調べるか、目的や</p>

<p>あと、読書ができる＝学力があがるという、単純な公式ではないとも、思います。そこを期待している感じがしましたので、..。</p>	<p>状況に応じて ICT と書籍等を使い分けて活用することも指導しております。</p> <p>情報技術が進み様々な情報が溢れる中、子どもたちが正しい情報をより適切な方法で獲得することができるよう、情報活用能力の育成に向けた指導と環境整備の充実を図ってまいります。</p>
<p>③ 学校給食に関すること</p> <p>地場産物と米飯給食の取り組み、嬉しいです、ありがとうございます。</p> <p>先日給食センター見学も行かせていただき、センター長の想いにも触れ、とても感謝しています。</p> <p>要望としては、お塩を自然塩に変えていただきたいこと。</p> <p>また牛乳を基本とする献立はやめていただければと思います。米×牛乳の組み合わせが嫌だったり、冬場は寒くて残りやすいなど、多くの牛乳が廃棄されているのでは、と思うので。</p>	<p>自然塩はミネラルが豊富ですが、学校給食では献立や食材の組み合わせを工夫することにより、児童生徒に必要なミネラルが充足されていることから自然塩に変更することは考えておりません。</p> <p>牛乳を提供する理由としまして、成長期の児童生徒にとって、不足しがちなカルシウムやタンパク質などの栄養素をバランスよく効率的に摂取するのに適しているため牛乳を提供しています。牛乳に代えて他の食品から同量の栄養素を毎日摂取しようとした場合、摂取量や価格面からも非常に困難であり、学校給食において牛乳は、必要不可欠な食品であります。</p> <p>なお、学校給食法施行規則において給食の内容に牛乳が含まれております。</p>

(3) その他の意見

意見等の概要	意見等に対する考え方
<p>① 義務教育学校について</p> <p>この教育ビジョンではきちんと明記がないのですが、先日のみらい学園の説明会にて、5.6年生が50分授業になる、そして中休みが無くなると、初めて聞きました。</p> <p>前期課程で、小学生である子ども達だと思ってしまうのですが、これは校舎の都合上ということでしょうか？となると、当初の話から違うな、と感じます。ここについて、もう少し丁寧な説明を求めたいです。</p>	<p>授業時間を含めた教育課程の編成は、各学校が自校の教育理念や子どもたちの実態等に応じて行うものであり、学校教育ビジョンにおいては、その例を示しております。</p> <p>交野みらい学園では、現在交野みらい小学校及び第一中学校で行われている、子どもたちが意見を交流しながら学び合う活動を重視した授業を引き続き実施するため、子どもたちどうしてじっくり考えながら学びを進める時間を十分に確保するなど、ゆとりを持ちながら授業内容の充実が図れるよう5・6年生において50分授業を行う予定と聞いております。</p>

	<p>現在の交野みらい小学校では、業間の休み時間は5分ですが、交野みらい学園では10分になりますので、休み時間の合計はこれまでと変わりません。</p>
--	---